



社会福祉法人
肝付町社会福祉協議会
肝付町ボランティアセンター

望 縁 郷

vol.39
2020

編集発行：肝付町社会福祉協議会 【やぶさめの里総合公園福祉会館内】
TEL：0994-68-8188 FAX：0994-68-8187
<https://www.shakyo.or.jp/hp/1761/>

町民のみなさん、「安心」をありがとう！



見えにくい特殊なメガネで新聞を読む体験の様子。（町内の各中学校で実施）

◆記事内容◆

- 平成 31 年度肝付町社会福祉協議会決算報告・財産目録・・・ P2、P3
- 令和 2 年度赤い羽根共同募金運動について・・・ P4
- 令和 2 年度障がい児・者スポーツの集い「パラスポおおすみ」開催・・・ P5
- 令和 2 年 7 月豪雨災害義援金募集へのご協力について・・・ P6
- かごしまおもいやりネットワーク事業（案内）・・・ P6
- 令和 2 年度福祉体験学習の様子（上部）・・・ P7
- もったいない！をボランティアでつなごうプロジェクト（下部）・・・ P7
- ペットボトルキャップ（寄付）・令和 2 年度ボランティア活動保険・・・ P8

望縁郷（ぼうえんきょう）の願い！

望んでいます。地域の温かいつながり（縁）で、誰もが安心して暮らせる肝付町（郷）であることを！

ボランティアや福祉活動を、気軽に楽しく（エンジョイ）、今日（キョウ）から始めて頂きたいと願っています！

この「望縁郷」が故郷肝付町と町外の肝付町出身の方との望遠鏡（ぼうえんきょう）になれば願っています！

この情報誌は、共同募金の助成を受けて発行されています。

平成31年度決算報告

資金収支計算書

(単位：円)

事業活動による収支		
収入	会費収入	2,572,250
	寄付金収入	1,882,052
	経常経費補助金収入	21,920,602
	助成金収入	74,400
	受託金収入	35,179,324
	貸付事業収入	105,000
	事業収入	1,950,778
	負担金収入	10,041,000
	介護保険事業収入	125,121,588
	障害福祉サービス等事業収入	5,893,540
	受取利息配当金収入	6,277
	その他の収入	274,000
	事業活動収入計 (1)	205,020,811
支出	人件費支出	170,445,174
	事業費支出	31,931,259
	事務費支出	5,534,216
	貸付事業支出	85,000
	負担金支出	20,000
	事業活動支出計 (2)	208,015,649
	経常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	△ 2,994,838
施設整備等による収支		
収入	施設整備等収入計 (4)	0
支出	固定資産取得支出及び繰入支出	4,721,500
	施設整備等支出計 (5)	4,721,500
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 4,721,500
その他の活動による収支		
収入	積立資産取崩収入	2,819,855
	その他の活動による収入	2,336,520
	その他の活動収入計 (7)	5,156,375
支出	その他の活動による支出	6,935,050
	その他の活動支出計 (8)	6,935,050
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 1,778,675
予備費 (10)		0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) + (10)		△ 9,495,013
前期末支払資金残高 (12)		36,284,904
当期末支払資金残高 (11) + (12)		26,789,891

事業活動収支計算書

(単位：円)

サービス活動増減の部		
収益	会費収益	2,572,250
	寄付金収益	1,882,052
	経常経費補助金収益	21,920,602
	助成金収入	74,400
	受託金収益	35,179,324
	事業収益	1,950,778
	負担金収益	10,041,000
	介護保険事業収益	125,121,588
	障害福祉サービス等事業収益	5,893,540
	サービス活動収益計 (1)	204,635,534
費用	人件費	176,412,253
	事業費	31,931,259
	事務費	5,534,216
	負担金費用	20,000
	減価償却費	3,773,481
	徴収不能引当金繰入	△ 1,000
	サービス活動費用計 (2)	217,670,209
	サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	△ 13,034,675
サービス活動外収支の部		
収益	受取利息配当収益	6,277
	その他のサービス活動収益	274,000
	サービス活動外収益計 (4)	280,277
費用		0
	サービス活動外費用計 (5)	0
	サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	280,277
	経常増減差額 (7) = (3) + (6)	△ 12,754,398
特別増減の部		
収益		0
	特別収益計 (8)	0
費用	固定資産売却損・処分損	17
	特別費用計 (9)	17
	特別増減差額 (10) = (8) - (9)	△ 17
	当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)	△ 12,754,415
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)	22,388,870
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)	9,634,455
	基本金取崩額 (14)	0
	基本取崩額 (15)	0
	その他の積立金取崩額 (16)	2,819,855
	その他の積立金積立額 (17)	0
	次期繰越活動増減差額 (18) = (13) + (14) + (15) + (16) - (17)	12,454,310

貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	金額		金額
流動資産	41,309,835	流動負債	24,234,097
預貯金	2,898,716	事業未払金	10,613,244
事業未収入金	38,411,119	賞与引当金	9,714,153
		職員預り金	3,906,700
固定資産	177,226,601	固定負債	80,721,770
基本財産	3,580,000	退職給付引当金	71,083,560
基本財産特定預金	2,000,000	退職給付引当金	9,638,210
土地	1,580,000		
その他の固定資産	173,646,601	負債の部合計	104,955,867
建物	192,223	純資産の部	
構築物	1	基本金	2,000,000
器具及び備品	4,914,674	基本金	2,000,000
車両運搬具	2,534,920	その他の積立金	99,126,259
退職手当積立基金預け金	57,126,314	福祉基金積立金	4,000,000
退職手当積立基金預け金	9,638,210	財政調整基金積立金	81,534,404
福祉基金積立資産	4,000,000	拠点整備等積立金	0
財政調整基金積立資産	81,534,404	備品購入積立金	12,236,000
備品購入積立資産	12,236,000	福祉車輛購入積立金	1,355,855
福祉車輛購入積立資産	1,355,855		
徴収不能引当金	△ 6,000	次期繰越活動増減差額	12,454,310
長期貸付金	120,000	(うち当期活動増減差額)	△ 12,754,415
資産の部合計	218,536,436	純資産の部合計	113,580,569
		負債及び純資産の部合計	218,536,436

平成31年度財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)


資産・負債の内訳		資産・負債の内訳	
1. 資産の部		2. 負債の部	
流動資産		流動負債	
(1)預貯金	2,898,716	(1)事業未払金	10,613,244
(2)事業未収入金	38,411,119	(2)賞与引当金	9,714,153
		(3)職員預り金	3,906,700
流動資産合計	41,309,835	流動負債合計	24,234,097
固定資産		固定負債	
(1)基本財産	3,580,000	(1)退職給付引当金	71,083,560
(2)その他の固定資産	173,646,601	(2)退職給付引当金	9,638,210
建物	192,223	固定負債合計	80,721,770
構築物	1	負債合計	104,955,867
車輛運搬具	2,534,920	差引純資産	113,580,569
器具及び備品	4,914,674		
退職手当積立基金預け金	57,126,314		
退職手当積立基金預け金	9,638,210		
福祉基金積立資産	4,000,000		
財政調整積立資産	81,534,404		
拠点整備等積立資産	0		
備品購入積立資産	12,236,000		
福祉車輛購入積立資産	1,355,855		
長期貸付金	120,000		
徴収不能引当金	△ 6,000		
固定資産合計	177,226,601		
資産合計	218,536,436		

町民の皆さんからのご質問

Q. 香典返しの寄付金って何に使われていますか？

A. 地域のボランティア育成や福祉機器（子供用車椅子等）の貸与、小学校や中学校等への出前福祉教育や体験学習などの地域福祉事業に使われています。

肝付町社会福祉協議会では、これからも「みんなの参加で福祉の町づくり」をキーワードに地域福祉向上に取り組んでまいりますので、皆様方のご意見などお聞かせください。



令和2年度資金収支予算書

(単位:千円)

収入の部		支出の部			
①事業活動による収入 計	341,536	①事業活動による支出 計	340,108		
会費収入	2,610	法人運営事業	27,849	福祉サービス利用支援事業	1,617
寄付金収入	2,000	生活福祉資金貸付事業	313	日常生活総合支援事業	300
経常経費補助金収入	28,649	社会福祉大会事業	880	養護老人ホーム国見園事業	112,035
助成金収入	75	在介センター事業	7,773	②施設整備等支出 計	390
受託金収入	43,444	居宅介護支援事業	37,090	③その他の活動による支出 計	9,295
貸付事業収入	300	訪問介護事業	59,335	④予備費	3,400
事業収入	3,148	訪問入浴介護事業	6,458	合計(①～④)	353,193
負担金収入	121,740	通所介護事業	35,771	<p>※社会福祉協議会の会計は、「社会福祉法人会計基準」に基づき編成されていますが、ここでは分かりやすくするため、支出の部を経理区分(各事業)ごとに掲載しております。</p>	
介護保険事業収入	134,101	小口貸付事業	300		
障害福祉サービス等事業収入	5,318	共同募金事業	680		
その他の収入	145	地域支援事業	445		
受取利息配当金収入	6	地域福祉事業	6,550		
②施設整備等収入 計	0	障害者総合支援事業	7,573		
③その他の活動による収入 計	800	寝具類等洗濯乾燥消毒事業	385		
④前期末支払資金残高 計	19,000	くらし安全ネットワーク事業	893		
合計(①～④)	361,336	地域包括支援サプセンター事業	33,861		

令和2年度 赤い羽根共同募金

◇ 10月から赤い羽根共同募金運動が始まりました。

運動期間

10月1日～12月31日

令和2年度 肝付町共同募金目標額	
一般募金	2,600,000 円
歳末たすけあい募金	700,000 円
合計	3,300,000 円



◇共同募金の仕組み

共同募金は、地域や福祉・ボランティア団体ごとの使い道や集める額を事前に定めて、その計画に基づいた募金活動を展開しています。これを「計画募金」と呼び、「助成計画」を明確にすることにより、住民の理解と協力を得やすくしています。

集まった募金の約70%は、募金をいただいた地域で使われています。残りの約30%は、みなさんの住んでいる市区町村を超えた広域的な課題を解決するための活動に、都道府県の範囲内で使われています。

また、大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など被災地を応援するために使われています。

◇共同募金の使いみち

共同募金の使いみちは、大きく2つに分けられます。1つは、県単位で使われるもので、県全体の福祉を向上させるための資金です。もう1つは、それぞれの市区町村内の計画に基づいて、市区町村で使われる資金です。

共同募金の助成は、高齢者・子育てサロンの運営や点訳ボランティアなど草の根のボランティア活動の費用から、障がい者作業所の車の整備・社会福祉施設の改修まで、さまざまな民間社会福祉活動を支援しています。

ちいさな地域でも、共同募金の助成金により実施されている活動は数多くあります。肝付町での使いみちを、WEBにて公開していますので、データベース「はねっと」下記のリンク先をクリックしてください。
<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/homeTown?data.jisCd=46492>

◇募金方法

共同募金の募金方法には、主に次のような募金方法があります。

- ・『戸別募金』：各振興会長並びに班長の方々のご尽力によって、各世帯に呼びかけて寄せられた募金です。
- ・『法人・大口募金』：町内の各企業から寄せられた募金です。法人（企業）にとって、社会貢献活動となります。
- ・『街頭募金』：街角や人の集まる場所で募金を呼びかけます。
- ・『学校募金』：児童生徒に呼びかけて行われる募金です。
- ・『職域募金』：企業・団体などの職域で、従業員に呼びかける募金です。
- ・『その他の募金』：イベント募金、窓口募金、ボランティア団体募金、募金箱等に寄せられた募金です。

◎赤い羽根共同募金は、地域福祉活動に取り組むあなたのまちづくりを支援します。

みなさまの温かいご協力をよろしくお願いします！

令和2年度

障がい児・者スポーツの集い「パラスポおおすみ」開催

9月5日、障がい児・者スポーツの集い「パラスポおおすみ」が開催されました。

大隅半島でいつでもスポーツに親しむ環境を作ることを目的に、「パラスポきもつき」として活動を開始して3年が経ちました。今後の活動について、寄付型自動販売機の収益の一部を活動財源として活用できるようになり、「パラスポおおすみ」として団体を設立し活動を運営していくことになりました。

新型コロナウイルスの影響で今年の3月より活動を自粛していましたが、団体立ち上げと活動再開に向けての協議が行われ、町内外及び県外の方など12名の支援者・協力者が参加されました。

団体立ち上げの経緯と予算について説明が行われ、その他活動再開と今後の計画について話し合われました。

会長に就任した倉岡満さん（肝付町立病院勤務）は、「皆さんと一緒に楽しみながら、パラスポおおすみを盛り上げていきたい」と挨拶されました。



●活動日時

毎月第3土曜日 午前10時～正午

●活動場所

肝付町福祉会館 及び やぶさめの里総合公園

●参加申し込み

毎月第2金曜日までに申し込みください。

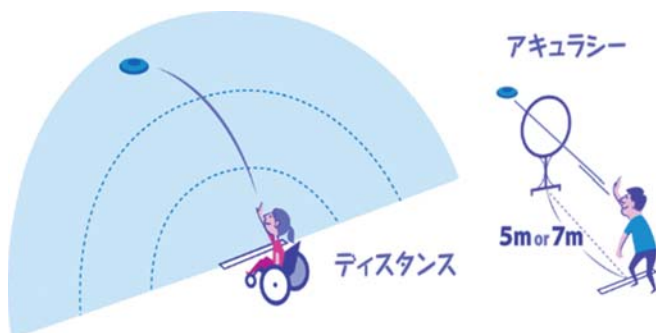
●申し込み方法

社会福祉法人 肝付町社会福祉協議会

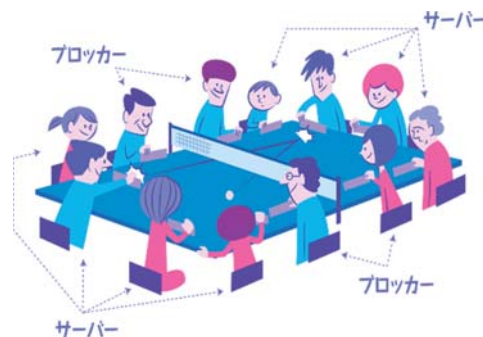
電話：68-8188

※必ず電話申し込みの上で参加ください。

◎フライングディスク（フリスビー）



◎卓球バレー



他、ボッチャ、シャッフルボード など

障がい児・者、親子、年齢を問わず運動が好きな方、運動不足の方、スポーツを支援していただける方、誰でも参加できます。是非、ご利用ください。

パラスポおおすみ

『令和2年7月豪雨災害義援金』募集へのご協力について

令和2年7月の大雨により、各県で大きな被害が出ました。この災害で被災された方々を支援するため、日本赤十字社鹿児島県支部及び肝付町分区では、次のとおり義援金を受け付けております。被災地の一日も早い復興を願い、皆さま方の温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

○義援金取扱口座に鹿児島銀行の支店に備え付けの専用振込用紙でお振込みください。

※他の銀行等から振り込まれた場合は、振込手数料がかかります。

義 援 金 口 座	鹿 児 島 銀 行	支 店 名	鹿児島銀行 鴨池支店
		□ 座 番 号	普通預金 664155
		□ 座 名 義	「日本赤十字社 鹿児島県支部」
		振込手数料	免除（鹿児島銀行窓口での取り扱いに限る）
		振込み通知書に「令和2年7月豪雨災害義援金」と明記してください。受領証を希望される方は、併せて「受領証・要」と明記してください。	

募集期間

令和2年
7月7日(火)～
令和2年
12月28日(月)

○持参される方は、肝付町社会福祉協議会 本所（肝付町福祉会館内）及び 内之浦事業所（役場内之浦総合支所2階）でも受け付けています。

肝付町分区 68-8188

『かごしまおもいやりネットワーク事業』

地域社会の変容からさまざまな生きづらさ、暮らしづらさを抱える人達が増え、経済的困窮のみならず社会的孤独を背景として地域における生活課題、福祉課題は多様化、深刻化の様相を呈しています。

社会福祉法人の地域における公益的な取り組みとして鹿児島県内で始まった「かごしまおもいやりネットワーク事業」は、制度の狭間で支援が届かない方への緊急的な支援を地域の社会福祉法人が連携して現物給付の形でおこなう取り組みです。肝付町内では、2つの社会福祉法人（天上会、肝付町社会福祉協議会）が参加しています。

生活困難者の発見

困っている方がいることが分かると、加入法人の相談員がその方を訪問して相談を受け付けます。



課題解決のための支援と現物給付

関係機関や民生委員さんなどと協議し、困りごとを解決する方法を一緒に考えます。「食べ物がない」、「電気水道が止まりそう」、「おむつやミルクが買えない」等の緊急的に支援が必要な場合は、現物給付や代わりに支払う等の支援をおこないます。



支援後の見守り

他の福祉制度の利用や就職などによって自立した後も、継続的に見守ります。

※相談支援を受けずに、支給のみを受けることはできません。

※関係機関との連携のため、個人情報の共有に同意いただけない場合は支援できません。

※支給対象は原則として1か月以内の現物や光熱費等、生活に必要なものの支払いのみです。

福祉体験学習

肝付町社会福祉協議会では、福祉への理解と関心を持つ児童生徒を育成する目的で、高齢・障がい者の体験・認知症サポーター養成講座などを実施しています。

今年度はこれまでに、内之浦中学校・波野中学校・国見中学校・高山中学校で実施しました。また、今後も各小学校などで実施が予定されております。



▲ 車いす体験



▲ アイマスク体験（視覚障がい者体験）



▲ 認知症サポーター養成講座



▲ 高齢者疑似体験

もったいない!

をボランティアでつなごうプロジェクト



肝付町ボランティアセンター（社協）では、素材やサイズなど、様々な理由で使用しないマスクがあるが活用できないか？という声が寄せられていました。

そこで、町内の福祉施設に希望調査を行い、町民の方々から寄せられたマスクを希望のあった9か所の福祉施設に寄付させていただきました。

配布先（敬称略）

- ・特養銀河の里 ・有料老人ホーム芽生
- ・老健老春苑 ・グループホーム銀河の里
- ・高山学童クラブ ・CROWN ・グループホーム優芽
- ・恵心保育園 ・国見保育園

ご協力ありがとうございました

たくさんのペットボトルキャップ ありがとうございます



世界には、ワクチンの予防接種で助かる命がたくさんあります



町内の小中学校・高校や企業をはじめ、日頃よりたくさんの方々からペットボトルキャップなどの寄付をいただいております。ありがとうございます。

これからもよろしく願いいたします。

←国見中学校での贈呈式の様子

肝付町内で集められたペットボトルキャップは、「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」が「国連児童基金：ユニセフ（unicef）」に発注するワクチンの代金となります。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和2年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類		基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術 入院中の手術	65,000円	
	保険金 外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ

(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 営業時間: 平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。